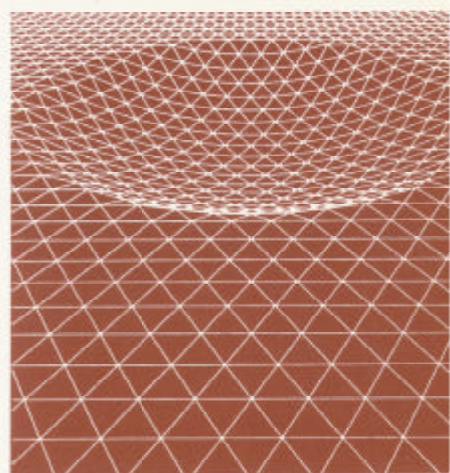


**P**olicy  
**R**esearch  
**C**enter

建設  
政策  
研究  
センター

第18号  
1998年3月



産業構造の変化に対応した地域づくりの  
あり方に関する研究

**PRC** 建設省  
建設政策研究センター

Policy Research Center / Ministry of Construction

産業構造の変化に対応した地域づくりのあり方  
に関する研究

1998年3月

建設政策研究センター

前 研究調整官	三橋	勝彦
研究調整官	辻	保人
前 研 究 官	横田	敏宏
研 究 官	垣下	禎裕

まえがき

産業空洞化問題が注目を集めるようになったのは 1991～94 年の頃であった。当初単なる雇用の減少として捉えられていた空洞化問題も、その後製造業の衰退はわが国の経済活力全体を低下させかねない深刻な課題として各方面に大きな議論を呼ぶようになり、現在では「製造業の復権」が経済の活性化のひとつの鍵であるといわれ、様々な取り組みがなされている。

また、社会・経済が大きく変化しようとしている今日、社会資本整備のあり方にも多様な視点からの模索が続けられている。特に、国際的な大競争時代に対応するためにも、高度かつ効率的な経済活動を支える社会資本に対するニーズは大きなものになってきているといえよう。

そこで本研究は、製造業を中心としてわが国の産業が転換点に立たされている現在、経済活動に資する社会資本を改めて問い直し、活力ある経済・社会を実現するための施策を検討するための基礎資料を提供しようとするものである。

なお、本研究の実施に当たり、研究方針や検討手法をはじめとして、慶応義塾大学商学部井原哲夫教授、(株)社会工学研究所酒井均代表取締役所長には、数多くの助言、協力を頂いた。ここに謝意を表したい。

1998年3月  
建設政策研究センター

# 目次

I 本編	
1 緒論	1
1. 1 本研究の目的	1
1. 2 本報告書の構成	1
2 空洞化の現状と課題	3
2. 1 空洞化の動向	3
2. 2 空洞化がもたらす影響	12
2. 3 空洞化対策の基本的方向性	19
2. 4 産業振興に果たす社会資本整備	23
2. 5 米国及びドイツにおける動向	29
3 企業の経営戦略と社会資本への期待～アンケート調査による分析～	32
3. 1 アンケート調査の目的及びフレーム	32
3. 2 企業の将来の立地戦略	34
3. 3 社会資本に対する企業ニーズ	40
4 産業振興に資する社会資本整備の課題～ヒアリング調査による分析～	49
4. 1 ヒアリング調査の目的及びフレーム	49
4. 2 産業空洞化の動向	52
4. 3 社会資本整備の課題	54
5 結論	57
5. 1 産業空洞化と産業構造転換	57
5. 2 社会資本ニーズの分析	58
5. 3 産業構造の転換に資する社会資本のあり方	63
II 資料編	
1 米国・ドイツの産業構造転換と産業振興政策の動向	67
2 企業の経営・立地戦略と社会資本整備への期待に関する企業アンケート調査	99
3 地域の産業振興と社会資本整備に関するヒアリング調査	154